

都市計画論

担当者 坂井 信行

開講時期 前期 単 位 2

●講義の概要

まちづくりや都市計画に関わる主要なテーマについて的一般論と、それぞれのテーマに関連する具体的な事例を通じた現場のリアルな実態を学ぶとともに、フィールドワークにより理解を深める。各種資料（文献、実例）や写真を豊富に使って講義を進める。

●講義の到達目標

まちづくりの概念を含む広義の都市計画についての基礎的な知識を習得する。また、近年の社会潮流を背景としたまちづくりの課題を身近なものとして捉えるための「まちを見る目」（一人称の視点）と、解決の方策を考えるための基礎的素養を養う。

●講義計画

- 第1回：ガイダンス
都市を構成する原理、近代以前の都市計画
- 第2回：近代都市計画の変遷
田園都市、近隣住区、アテネ憲章 等
- 第3回：21世紀の都市計画
パタンランゲージ、ニューアーバニズム、「自ずと成る」まちづくり 等
- 第4回：都市レベルの計画と法定都市計画
都市のマスタープラン、土地利用の計画、都市施設の計画、市街地開発事業 等
- 第5回：地区レベルの計画と法定都市計画
地域コミュニティとまちづくり、地区まちづくり計画、地区計画制度 等
- 第6回：都市空間のデザイン
都市のイメージ、内庭型と外庭型、D/H、マスターアーキテクトとデザインレビュー 等
- 第7回：都市の景観計画
景観の概念、景観構造の読み解き、都市デザインと景観誘導、まちづくりと景観 等
- 第8回：ミニ演習・討論
現状把握、課題抽出、目標像検討、まちづくりの方針検討 等
- 第9回：持続可能な都市づくり
ニュータウン再生、コンパクトシティ、都市のスポンジ化対策 等
- 第10回：都市計画をめぐる新たな潮流
タクティカルアーバニズム、エリアリノベーション、プレイスメイキング 等
- 第11回：都市計画における住民参加
行政計画と住民参加、まちづくり学習、ワークショップシビックプライド 等
- 第12回：まちづくりを支える仕事
専門家の役割と市民の役割、プロボノ、シティズンシップ、都市計画プランナーの仕事 等
- 第13回：フィールドワーク①
まち歩き入門（意義と効果、視点と方法）
- 第14回：フィールドワーク②
まち歩きの実践（まちの観察、資源の活用と課題の解決方策の検討）
- 第15回：総括・討論
レポートの中間報告、質疑

●成績評価基準と方法

①授業中の発言（C評価以上のために必須）、②第8回のミニ演習、③レポートについてそれぞれの水準を評価したうえでA～C評価

●テキスト又は参考文献

〔参考書〕

日本都市計画学会関西支部・新しい都市計画教程研究会編『都市・まちづくり学入門』学芸出版社 2011年
その他、適宜資料を配布、指示

●受講上の留意点

各回のテーマを生まれたまちや住んでいるまちと関係づけ、自らの立場や視点で考えたことについて発言を求める。